

## ちばさぼ交流サロン「プチ・ショウケース」のご報告

2月2日(日)センター会議室において「プチ・ショウケース」を開催しました。

ちょっと余興が欲しいけど「どこに頼んだらよいのかしら？」と、そんなお悩みを解決できるよう、当センターの登録団体で「余興の出し物」等となる勉強会をおこなっている団体のお披露目の場をもうけました。

当日の参加者は約30名。部屋に入りきれない方は、ドアの外から覗き込み、笑ったり、拍手したり、合いの手を入れたり。最後はみんなで歌い、コーヒーを飲みながら出演団体と参加者が活発に情報交換を行い交流会を楽しみました。

10:00	オープニング
10:05	まちづくり千葉
10:15	千葉芸能クラブ
10:40	バナナ叩き売りST保存会
11:05	落語研究会 縁
11:30	鍵ハモ♪ジャムシャンテ (音とともだち)
11:55	交流タイム(自由参加13時まで)

「プチ・ショウケース」の様子は、動画として、千葉市民活動支援センターのFacebookにアップされていますので、ぜひご覧ください。



千葉芸能クラブ



バナナ叩き売り  
ST保存会



落語研究会 縁



鍵ハモ♪ジャムシャンテ  
(音とともだち)

ミニコラム

## ちばさぼの風 vol.66 あらためて「ボランティア」について悩む

### ■ボランティアの4原則

ボランティアの語源はラテン語の「自由意志」VOLO (ウォロ) です。この「自発性」を筆頭に、「社会性」「無償性」「創造性(開拓性)」の4つがボランティアの原則。しかしボランティアという言葉が広まるにつれ、「それはどうなの?」と感じる場面にも出会うようになりました。

### ■自発性

学生がボランティア参加で単位を修得できる、という授業が一般的になり、筆者の関わるイベントにも大学生が参加してくれます。短い体験でも良いきっかけにしてほしいものです。しかし「単位の取得にボランティア参加が必須」という関わり方って「自発的」なのでしょう。あるいは、企業が地域清掃に参加してくれる場合はどうでしょう。社員の方は手をあげての参加なのか、当番として仕方なく来ているのか…どちらにせよ街がきれいになるのはありがたいことなのですが。

### ■無償性

地域活動に参加すると「地域ポイント」のようなものがもらえて、買い物や介護保険料等に使えるという制度があります。それ「無償性」に反するんじゃないの?と思う方もいるでしょう。同様に「有償ボランティア」という言葉にも矛盾を感じる人がいそうです。上限を設けた交通費の

一部助成とか、お弁当は出します等の配慮が、多くの人の参加につながったことは確かです。しかしボランティアの名を借りた「安い労働力」として悪用されるケースもあるのではないかと心配するのは、杞憂でしょうか。

### ■最後に

「ボランティア派遣」も不思議な言葉。大きな災害が発生すると受付窓口が市町村等に設けられ、現地と連絡を取りながらボランティアの行先を振り分けます。こうした仕組みは東日本大震災のころから整ってきたようで、行く人にも受け入れる側にも合理的です。しかし派遣と言われると、「自発的に被災地に来たのに、命令されて支援しているみたい」と感じる人もいるのでは。時代と共にボランティアの意味が多様化しているように思います。その変化に「おや?」と思うこともありますが、ともあれ、これから色々な人に参加してもらいたいものです。

